

長野地域振興局「長野果物語りで魅力ある地域づくりを目指す」

東京ドーム 巨人vsヤクルト戦 を通じて ながの地域で収穫された もも をPRします

長野地域は、県内有数の「くだもの」の産地です。長野地域振興局では、この「くだもの」を活用した地域振興を図るため、「長野果物語り（ながのくだものがたり）で魅力ある地域づくりを目指す」をテーマに様々な取り組みを関係機関と連携して行なっています。

今回は、（公財）ながの観光コンベンションビューローと連携して、夏の長野地域を代表するくだもの「もも」を、野球観戦されたお客様に抽選でプレゼントするほか、観光パンフレットなどを配布して長野地域の魅力を発信します。

1 PR月日

平成29年9月9日（土） 読売巨人軍 対 東京ヤクルトスワローズ 戦

2 PR内容

【ゲーム前】 12:00から、先着40,000名様に抽選券と先着12,000名様に長野地域の観光パンフレットなどが入った特製バックを入场ゲートにて配布。

【ゲーム中】 7回終了時に抽選番号を発表。2個入り1パックのももを60名様にプレゼント！

【ゲーム終了後】 特設ブースにて抽選券当選者にももを進呈。

【その他】 隣接する東京ドームホテルのレストラン「リラッサ」にて、平成29年9月8日（金）から9月9日（土）にかけて、長野地域で収穫された **もも「川中島白桃」「黄金桃」**を使用したデザートフェアを併せて開催します。



長野生まれの「もも」はなぜおいしい？

長野県は全国第3位のももの生産量を誇るフルーツ王国です。特に善光寺の御膝元、長野市では、全国で3番目に栽培面積の多い品種、大玉でジューシーなもも「川中島白桃」が生まれた地でもあります。

雨が少なく、昼夜の寒暖差が大きい気候、また悠久の大河、千曲川と犀川流域は、ももの栽培に適した条件がそろった自然豊かな地です。

しあわせ信州創造プラン（長野県総合5か年計画）推進中



世界級リゾートへ、
ようこそ。山の信州

（公財）ながの観光コンベンションビューロー
観光部 島津 仁・市村 久子

TEL 026-223-6050 FAX 026-223-5520
E-Mail omotenashi@nagano-cvb.or.jp

長野地域振興局 農政課 農村振興係
（課長）森山 隆弘
（係長）佐々木 直人（担当）荻原 誠信
TEL 026-234-9592 FAX 026-234-9513
E-Mail nagachi-nosei@pref.nagano.lg.jp